

北海道におけるドライブ観光の 可能性と課題

平成18年6月11日

第33回土木計画学研究発表会(春大会)

国土交通省北海道開発局建設部道路計画課

国土交通省北海道開発局建設部道路計画課

(独)土木研究所寒地土木研究所

有限責任中間法人シーニックバイウェイ支援センター

和泉 晶裕

○田村 桂一

松田 泰明

原 文宏

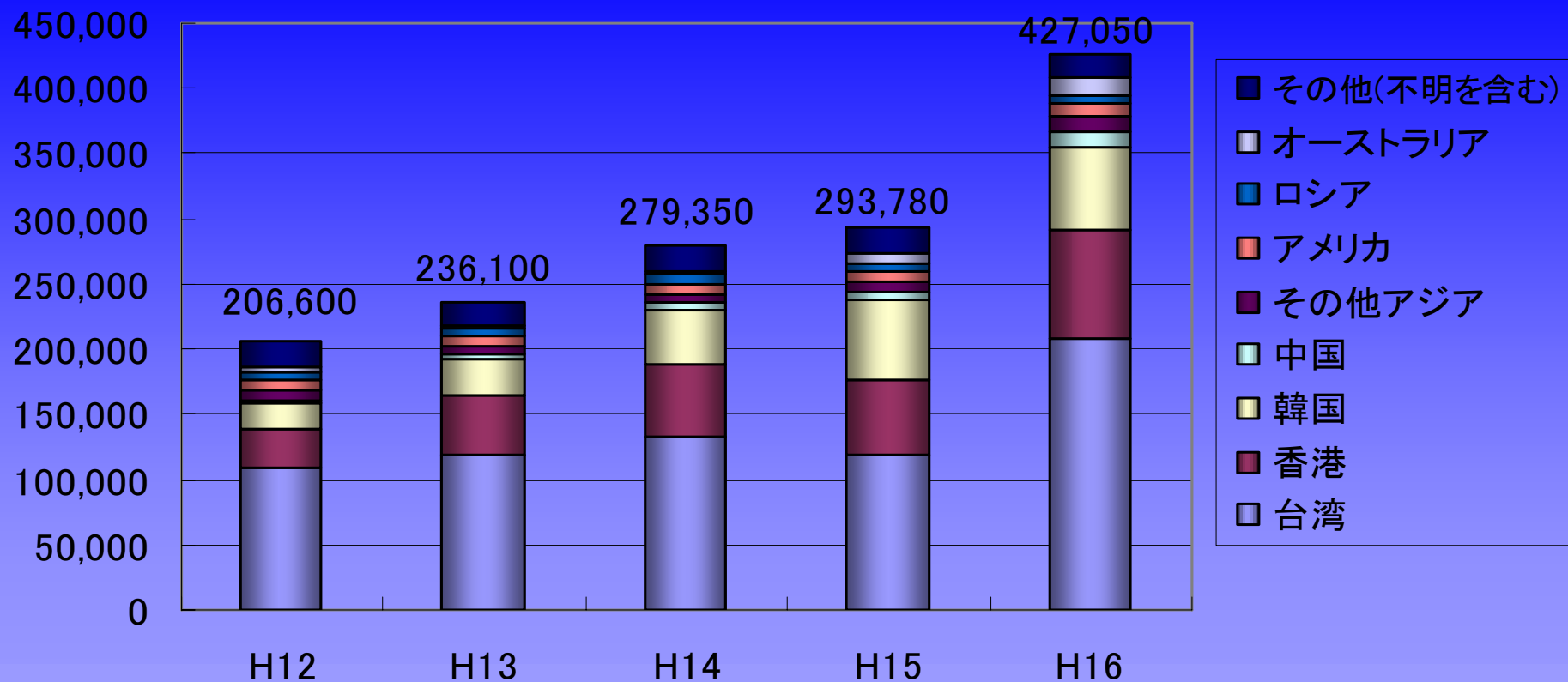
内 容

- I 外国人ドライブ観光調査実施の背景
- II 韓国ドライブ観光調査(2004)
- III シンガポールドライブ観光調査(2005)
- IV シーニックバイウェイ北海道での展開

I 外国人ドライブ観光調査実施の背景

■北海道における外国人観光客の推移

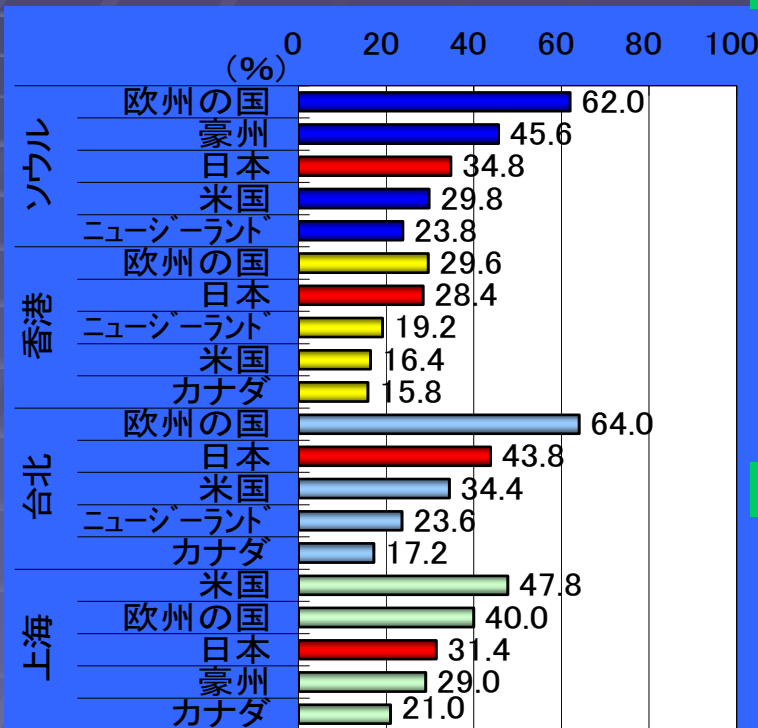
近年、北海道への外国人観光客の入り込みが増加
中でもアジアからの観光客の増加は顕著



来道外国人客の推移

■東アジアからの訪問希望国・地域

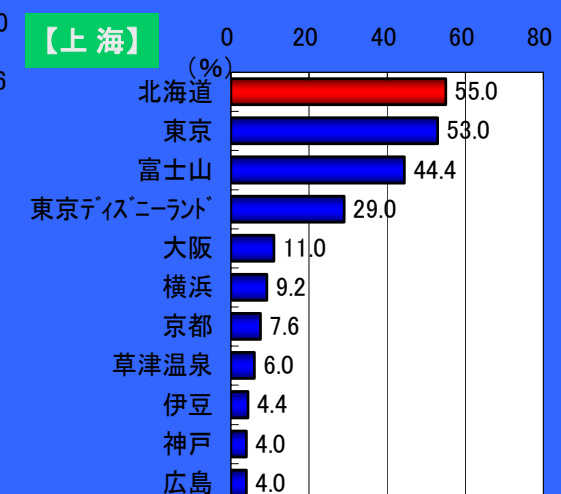
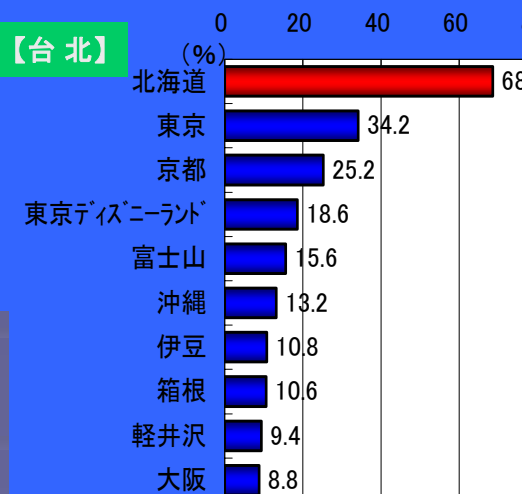
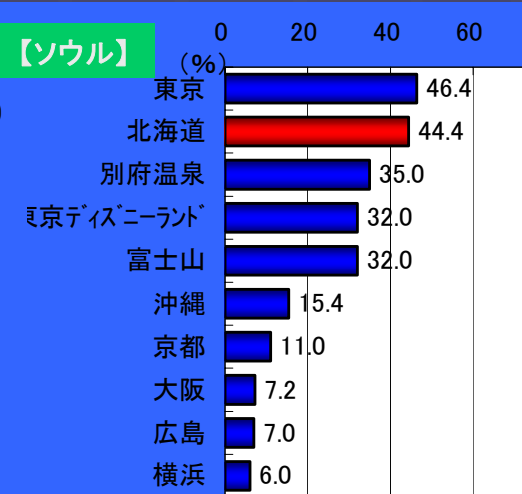
東アジア地域からの訪問希望国として日本、その中でも北海道は訪れたい国・地域の上位



訪問してみたい海外の国

資料: 日本経済新聞社

「日本の観光地意識調査(2004年)」



■外国人ドライブ観光調査の背景

■何故ドライブ観光か

- 外国人観光客も団体型から個人型化(FIT)を指向
- ほとんどのレンタカーにカーナビが搭載され、経路案内が容易
- 個人型観光は一人当たり消費額が多いと予想され、北海道経済へ大きな影響を与える可能性
- 道内の道路網のネットワーク化ほぼ完成
- 「道の駅」などのドライブ支援施設が充実
- シーニックバイウェイ北海道の展開による豊富な地域資源発掘
- 大規模施設の対応などが不必要

■何故韓国、シンガポールなのか

- 東アジアで日本で国際免許証により運転が可能な国
(中国、台湾は日本で国際免許使用できず)
- 平均国民所得が高く、個人型観光への興味が高い

Ⅱ 韓国ドライブ観光調査(2004)

Ⅲ シンガポールドライブ観光調査(2005)

■調査の目的

■本調査では、北海道が『アジアの宝』として、外国人観光客の来訪促進のための受皿の検討のひとつとして、ドライブ観光における施策展開の方向性を定めるための基礎的資料づくりを行うことを目的とする。

■このため、ジュネーブ条約により国際自動車免許の承認がされている韓国、シンガポールからモニター観光客を誘致し、レンタカーによるドライブ観光の実態を通じて、外国人観光客がドライブ観光に代表される北海道の観光スタイルを楽しむにあたって求められる受け入れ態勢や道路サービス、ニーズなどについて把握することを目的とする。

1. 韓国

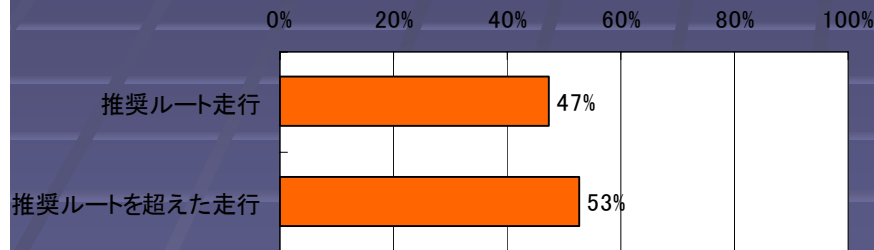
■北海道ドライブ観光行動の状況

■GPS解析によるモニター観光客のドライブ周遊状況

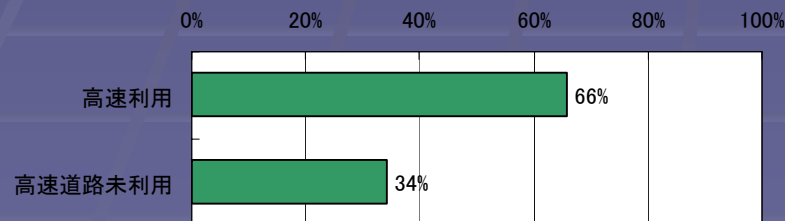
○推奨ルート及び高速道路の利用状況

- ・全体の約5割が推奨ルートを超えた行動
- ・高速道路を約7割の人が利用

○推奨ルート走行比率



○高速道路利用比率



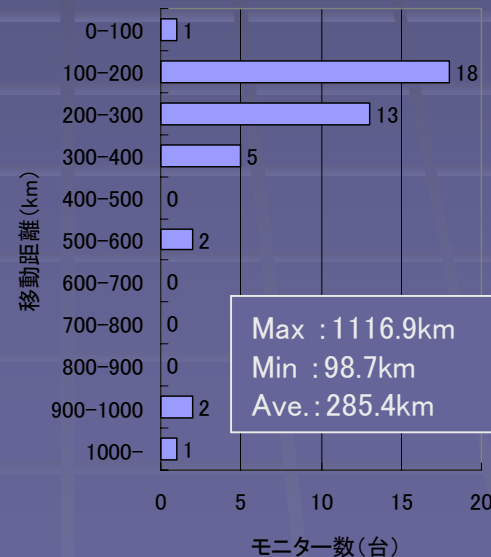
○総周遊移動時間

- ・総周遊移動時間の平均は6時間6分
- ・500km以上走行し10時間以上ドライブした人も

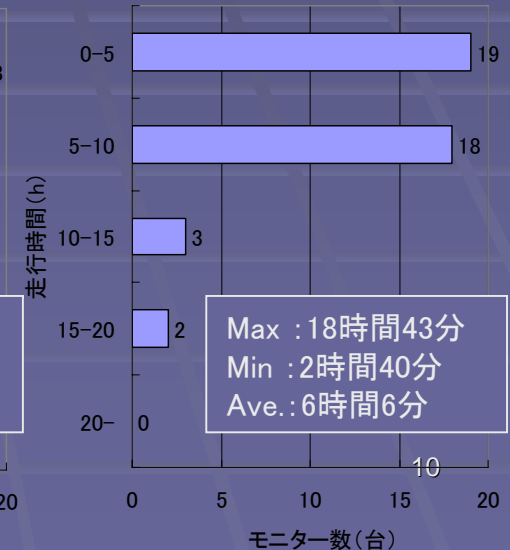
○総周遊移動距離

- ・総周遊移動距離は平均は約285.4km。
- ・500km以上の周遊も5件（来道経験ありといったモニターに多い）

○総周遊移動距離



○総周遊移動時間



■GPSデータに基づくドライブ周遊行動軌跡

来訪事前の計画により、小樽・積丹方面、登別・洞爺湖方面、旭川・層雲峡方面まで推奨ルート(赤ライン)の範囲を大きく越えた広域的観光行動が行われた。



※1 推奨ドライブルート 1日目: 新千歳空港→支笏湖、2日目: 支笏湖→札幌市内、3日目: 札幌市内→新千歳空港
※2 方面別訪問者数はGPS調査によるものであり、事前の訪問計画はアンケート調査による。

■レンタカー利用による北海道旅行の感想(自由回答から)

【道路地図関連】

- ・道路地図上にお勧め食事所や見所の表記が欲しい。
- ・道路交通地図をもっと詳細に(距離・時間表示・分岐点など)。

【情報関連】

- ・所要時間別ドライブコース案内(例:3~4時間、5~6時間など)が欲しい。
- ・ドライブ途中、道が正しいかどうかを確認、または質問できる場所を探すのが 容易ではなかった。
- ・ナビゲーターの設定方法を事前教育する必要がある。
- ・ガソリンスタンドが田舎ではあまり見あたらない。都市に集中しているようだが、この点も前もって注意させる必要があると思う。

【景観】

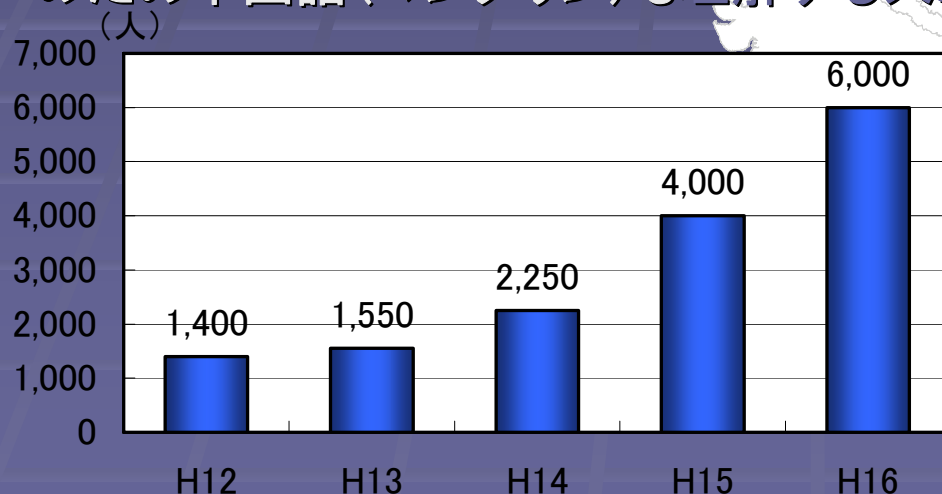
- ・道路からの景観がすばらしく、自由度が高かった。
- ・紅葉がすばらしかった。道からの景観、道そのものが魅力。

2. シンガポール

■シンガポールについて



- シンガポールの人口は約400万人で、近代的な国
- 日本との時差は1時間
- 日中の気温は年間を通じて24℃～32℃
- 自家用車が高額かつ総量規制のため、取得自体が困難なため、ドライブに対するニーズが高い(関税200%+取得権利約200万円と高額のため、カローラクラスが700万円程度になる)
- 北海道へは年間6,000人が訪問(近年急増)
- 長期のスクールホリデーの時期は6月と12月
- イギリス領からの独立国で英語に加え、中華系民族が7割以上のため中国語(マンダリン)も理解する人が多い。



シンガポールからの来道客数

資料:北海道「北海道観光入込客数調査報告書」

■外国人ドライブ観光調査におけるツアー行程

●旅行会社:PRIME TRAVEL&TOUR ●ツアー参加者:約160名(47組)

	シンガポールからのツアー行程
6/16	シンガポール ⇒ (チャーター便) ⇒ 新千歳空港(19:15着) 【ホテル日航千歳泊】
6/17	千歳発レンタカー自由行動 ⇒ 洞爺(支笏湖・シーニックバイウェイマップ提示) 【洞爺パークホテル天翔泊】
6/18	洞爺湖発レンタカー自由行動 ⇒ ニセコ(シーニックバイウェイ・登別マップ提示) 【ニセコ東山プリンス泊】
6/19	ニセコ発レンタカー自由行動 ⇒ 札幌(小樽経由マップ提示) 【ロイトン札幌泊】
6/20	札幌発レンタカー自由行動(留萌オロロンライン・シーニックバイウェイ・富良野マップ提示) 【ロイトン札幌泊】
6/21	札幌発レンタカー自由行動 ⇒ レンタカー返却 ⇒ 新千歳空港(20:15発) ⇒ (チャーター便) ⇒ シンガポール

■外国人ドライブ観光調査の概要

調査方法

- シンガポールから来道した、レンタカーによる『ドライブ観光』（宿泊先を設定した5泊6日の旅程）の観光客を対象に、外国人のドライブ観光行動把握のための「プロブカー調査」、「観光ニーズに関するアンケート調査」を実施。

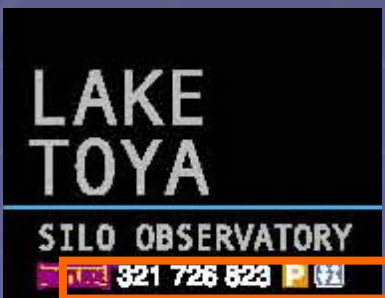
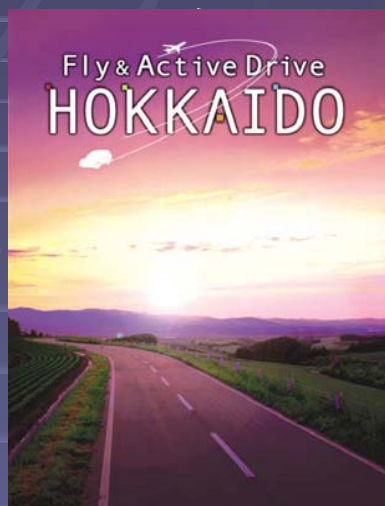
アンケート調査内容

- 旅行前について
（情報収集、旅行の目的、期待度等）
- 旅行前の期待とドライブ観光後の評価
- 実際のドライブ観光について など



ドライブマップの提供

■ ツアー行程に合わせ景勝地等のマップコードを表記した英語版のドライブマップ「Fly&Active Drive Hokkaido」を作成。



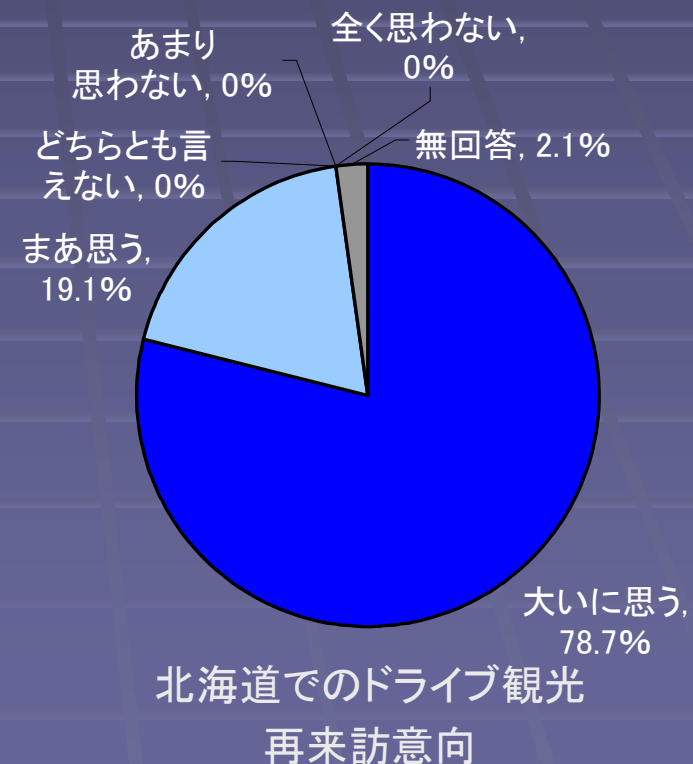
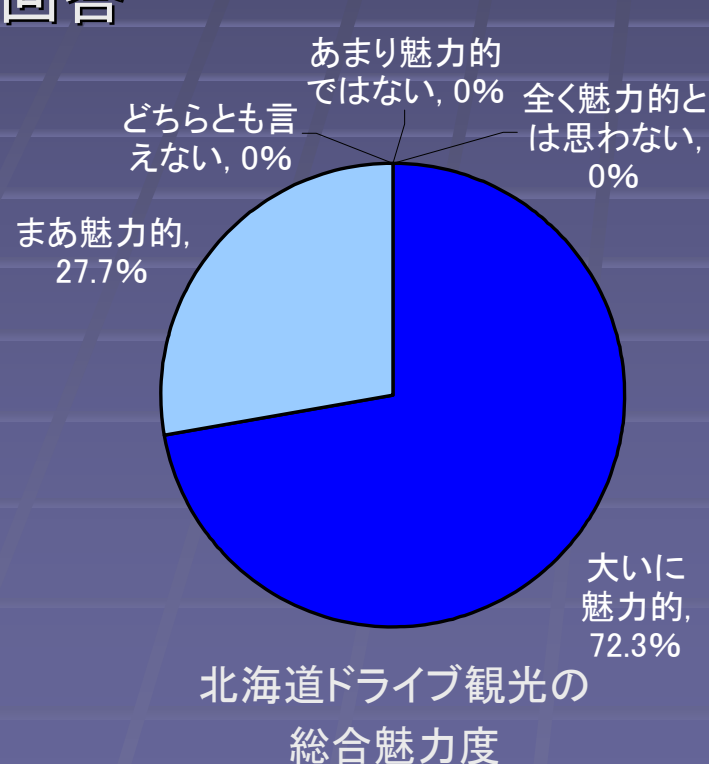
マップコード



(1)ドライブ観光全体の評価

北海道のドライブはどうだった？

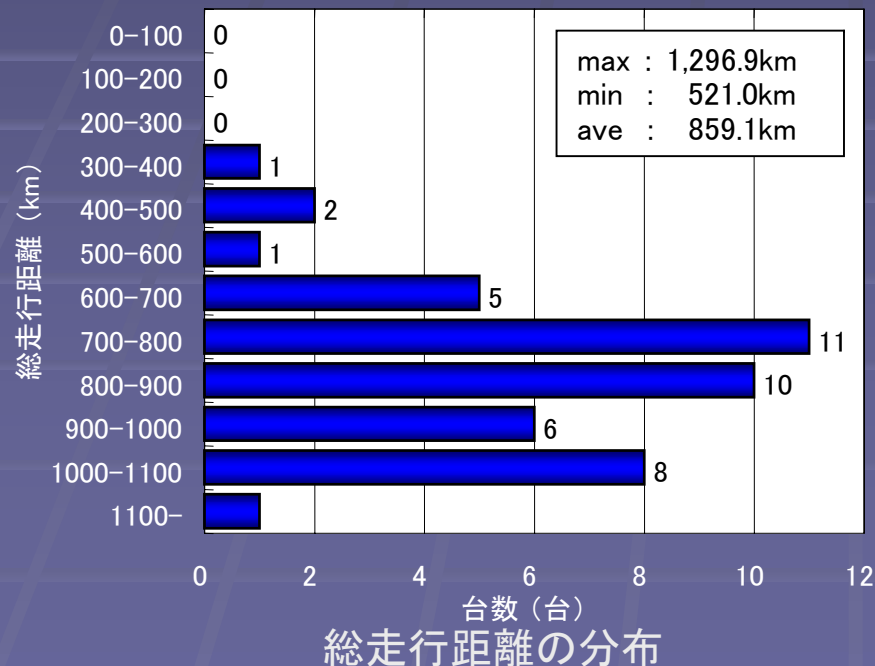
- 参加者の実に72%が「大いに魅力的」と回答し、魅力的ではないとの回答は皆無
- 再訪意向についても、79%が「大いにまた来たいと思う」と回答



(2) 移動経路・範囲

どれくらい運転するのか？

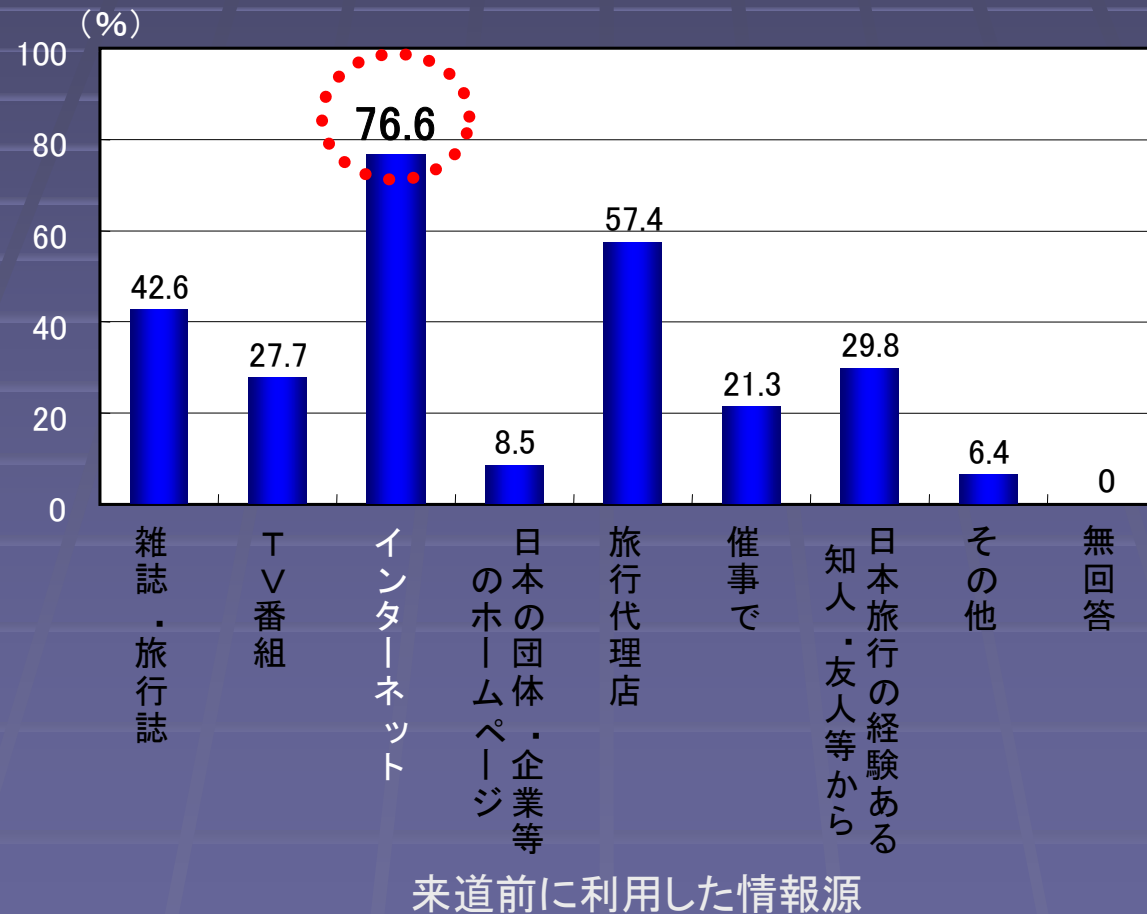
- ドライブ走行の総走行距離は、平均約859km、最大は約1,300km
- 日あたりのドライブ走行は、平均約68～299km/日。特に富良野方面への移動時の走行距離が長く、最大で約455km/日の移動もみられた



(3) 事前の情報入手

来道前の情報入手ソースは？

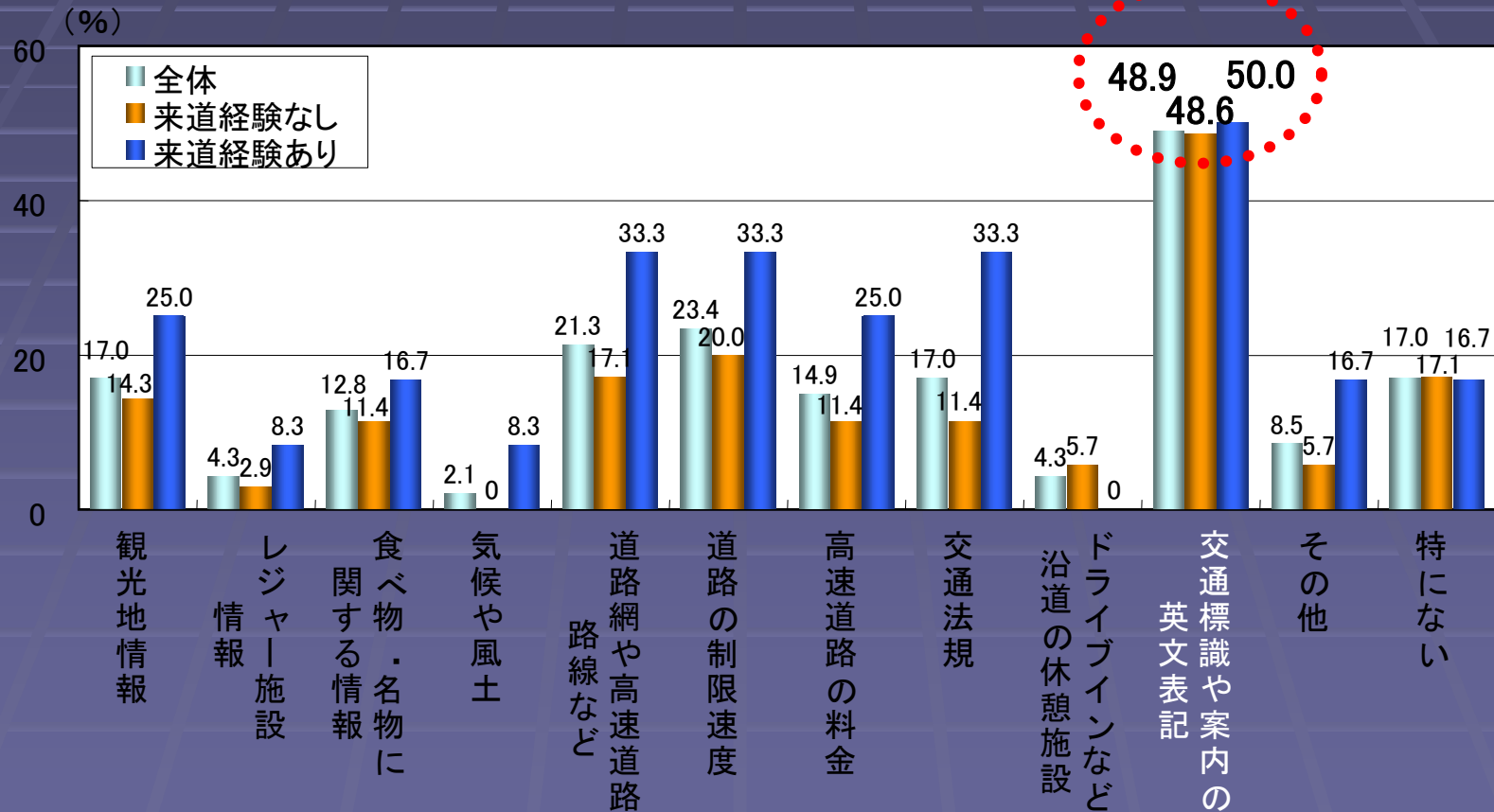
- 来道前に情報を入力する方法としてインターネットが多く活用されている



(3) 事前の情報入手

来道前に入手困難だった情報は？

- 観光地やレジャー施設の情報に比べて、道路や交通関係の情報入手が困難

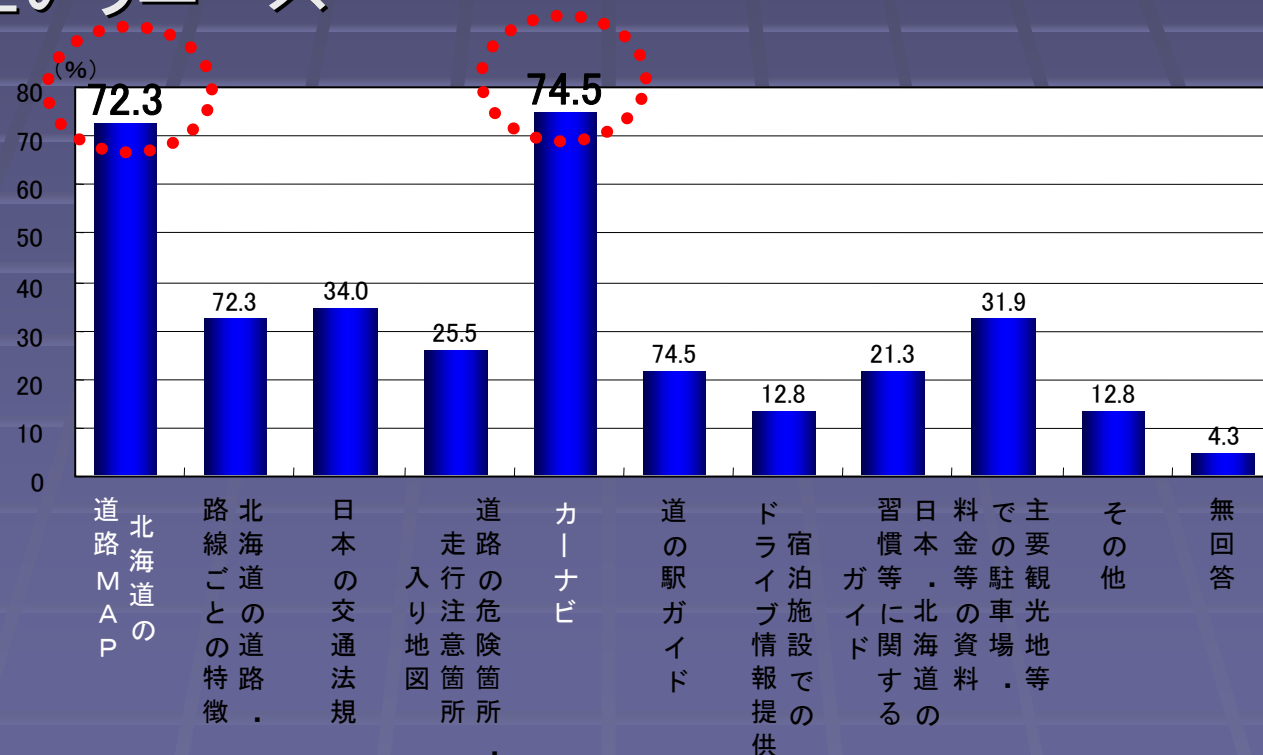


来道前に入手困難だった北海道関連の情報

(3) 事前の情報入手

事前に入手できていれば良かったのは？

- 旅行前の情報ニーズとして、道路マップやカーナビが上位
- 旅行の計画を立てる上での道路マップの必要性
- カーナビについては、基本的機能以外の多彩な機能を使いたいというニーズ

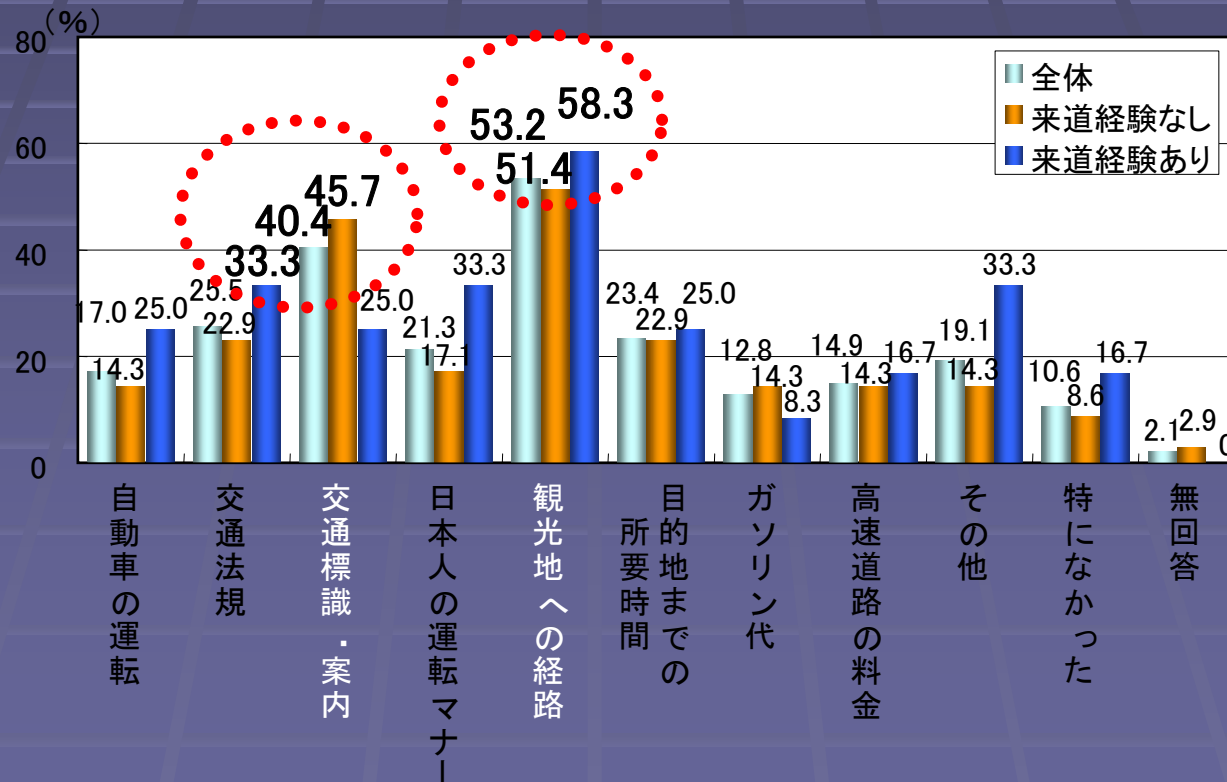


事前に入手できればよかったと思う情報等

(4)ドライブ走行支援

ドライブ観光に際して不安だったことは？

- 旅行前、観光地への経路や交通標識や案内に不安を感じていた人が多かった
- 現在地や経路などの情報入手に不安

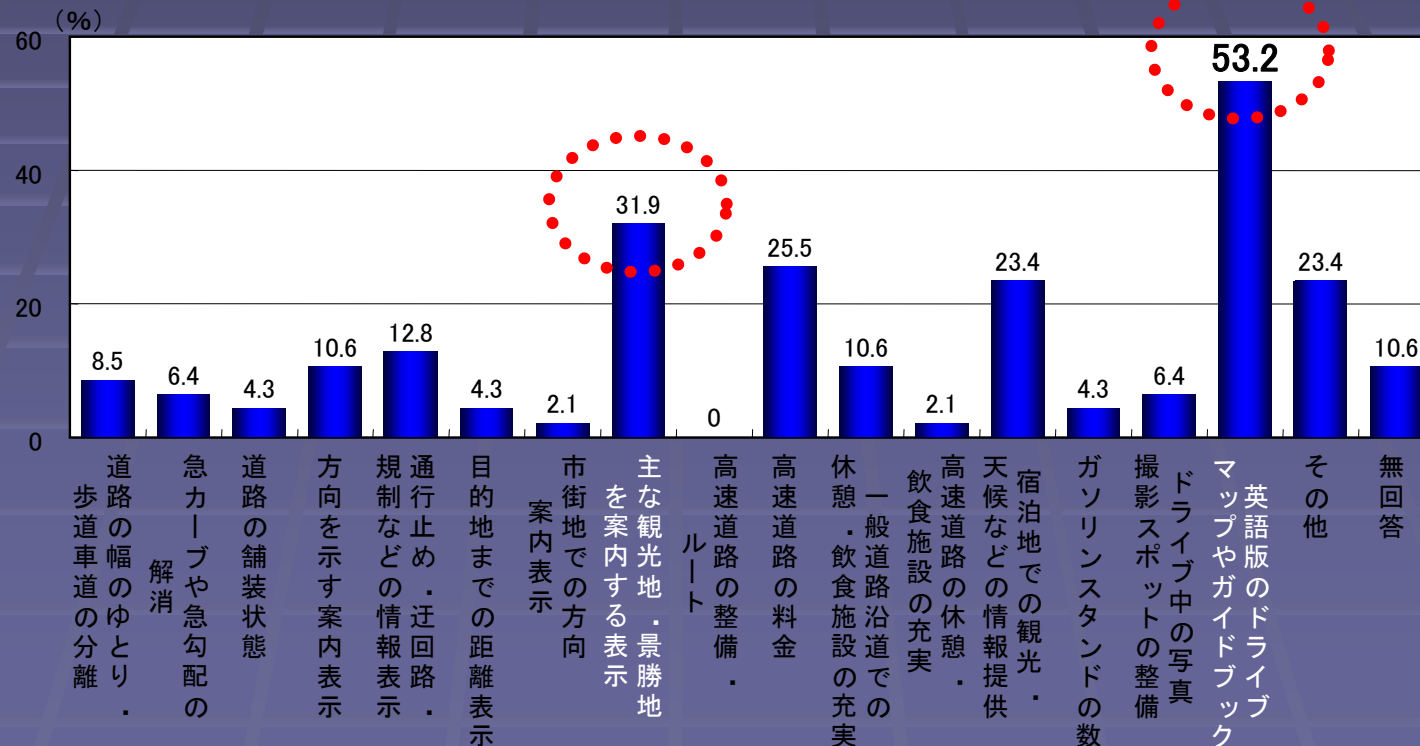


北海道でのドライブ観光に際して当初不安だったこと

(4)ドライブ走行支援

どんな点が悪かった？

- 改善希望点として、英語版のドライブマップや案内表示の改善を求める人が多数
- 旅行前に感じていた不安に対し、やはり対応が不十分という評価

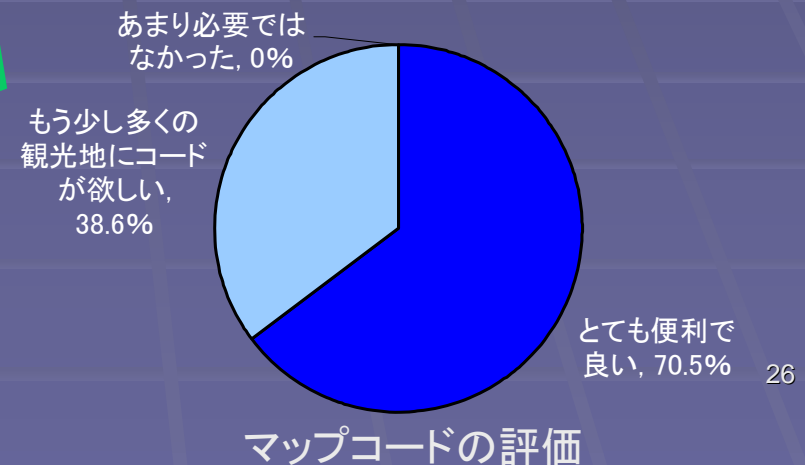
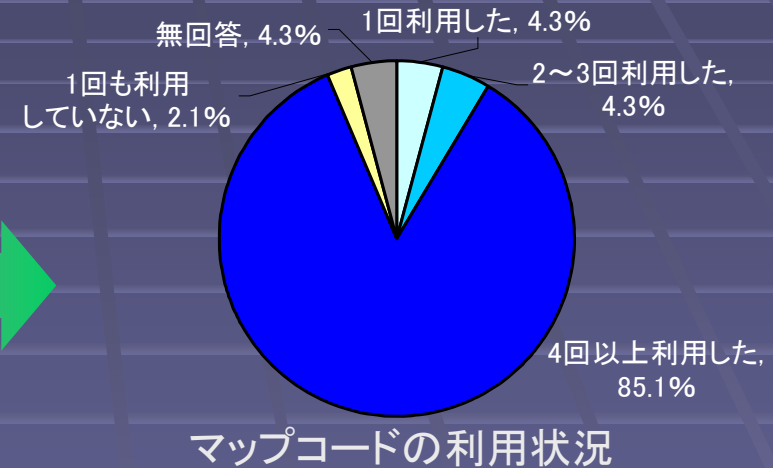
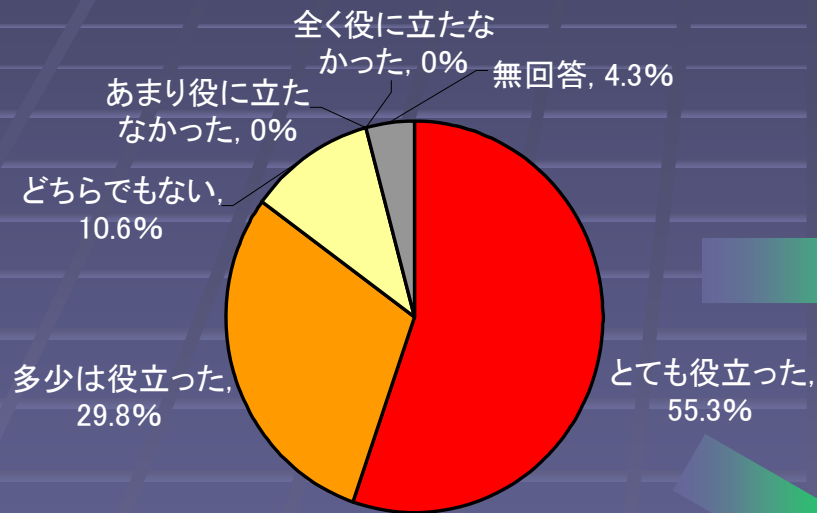


北海道ドライブ観光に関する改善要望点

(5)カーナビゲーションの有効活用

カーナビと連動したマップは？

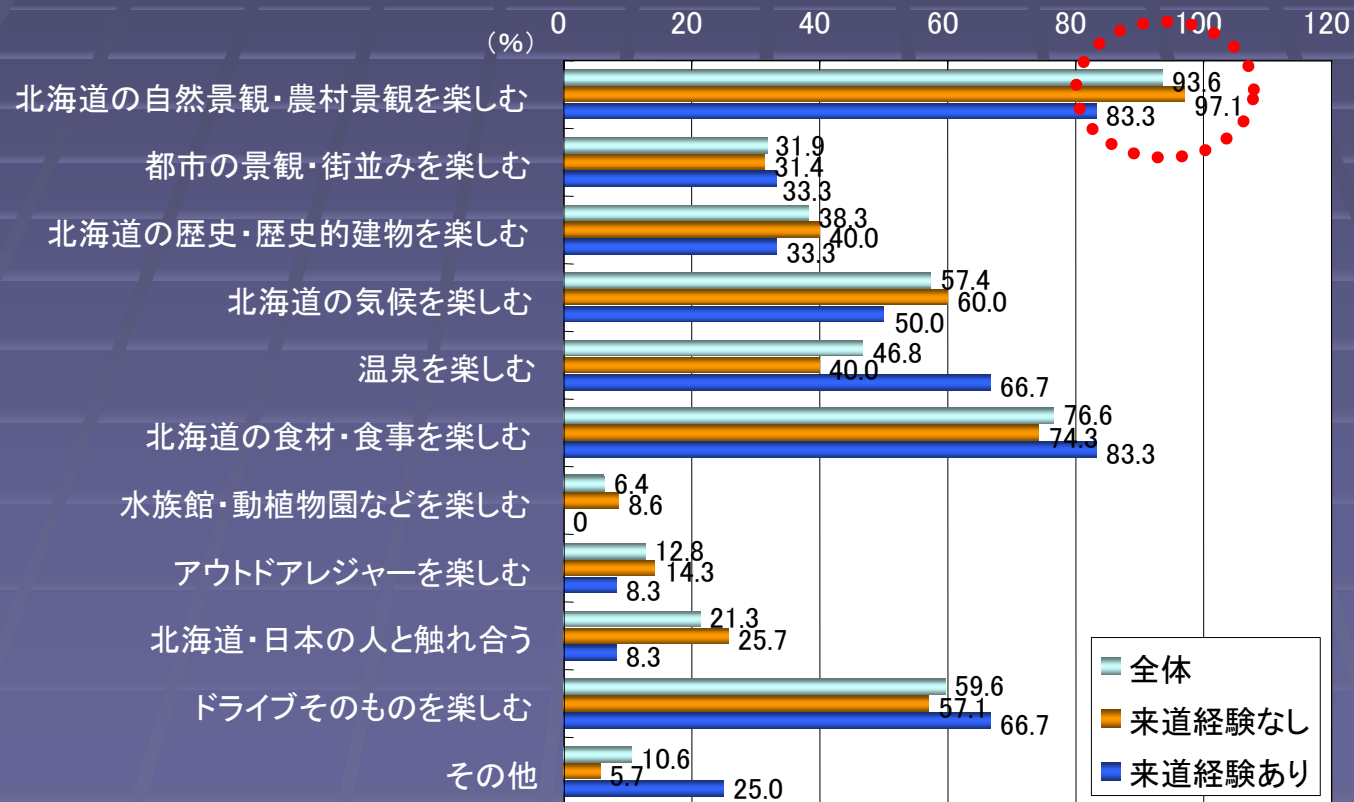
- マップコードを記載した英語版ロードマップを配布
- マップコードは使いやすいと好評



(5)カーナビゲーションの有効活用

外国語対応だけでは不十分？

- カーナビで検索しづらい景観ポイントなどへの誘導等、目的に応じてアナログ情報との連動も必要



今回の北海道観光の主な目的

IV シーニックバイウェイ北海道での展開

■ 情報提供関連

- インターネットによる旅行前の情報提供
- 現在地や経路など走行支援
- カーナビなど既存システムの有効活用とマーケットと連動した開発・普及
- GPSなどとコールセンターとの連携
- ハード（標識等）、アナログ情報（地図）とITS関連の連携・補完

■シーニックバイウェイ北海道での可能性

- メジャーではないスポットへの誘導のきっかけ作り
- 小規模旅行に対する外国人対応
- 目に見えて分かる経済効果
 - 先進的な刺激が全体の底上げに